



## 来年度予算案

### 巨額の国体（2024年開催）施設整備に着手//福祉・暮らしの願いには背を向ける

2月9日に来年度予算案が発表されました。予算案では2024年に滋賀県で開催される「国民体育大会」のための彦根主会場整備（総額200億円）の実施設設計や用地取得など29億6千万円余りを計上。県立体育館の移転新築（総額93億円）の設計など、巨額の国体施設整備がすすめられようとしています。

これまで日本共産党県議団が要望してきた県立学校のエアコンの設置は、新設校3校から順次始まりますが、中学校卒業までの医療費無料化や、小・中学校の35人以下学級の完全実施、県独自の給付型奨学金制度の創設など切実な願いには背を向ける予算案となっています。

1月23日に「明るい滋賀県政をつくる会」が、来年度予算に対する要望を三日月大造知事宛におこない、西嶋副知事が対応しました。参加者からは、「国体の施設整備は最小限にし、福祉へまわすべき」、「今は子どもが小さいから助かっているけれど、成長していくと、医療費の負担が増えるのは心配」と訴えられました。参加した節木三千代県議は、「知事にしっかりと伝えてほしい」と求めました。



「明るい滋賀県政をつくる会」の要望に参加するふしき県議

### 2月議会へ、党県議団と三日月知事との政策協議 「住民福祉の向上」を中心の予算編成を

2月16日開会の2月県議会を前に、日本共産党県議団は、1月30日に、三日月知事との政策協議をおこないました。

節木県議団長は、「格差と貧困がひろがっており、『住民福祉の向上』



を中心にした予算編成を」と述べました。節木県議、杉本敏隆県議、藤井三恵子県議は、新県立体育館建設のPFI（民間資金活用）方式導入中止、鳥インフルエンザ対策、湖西線を北陸新幹線の並行在来線としないこと、給付型奨学金制度の創設を求めました。



不足する教室。北大津養護学校視察

2月6日、北大津養護学校を訪問。遊び場をつぶして増築されましたが、図書室、理科室などの特別室の復元はできていません。児童・生徒の増加で教室が不足している現状を視察。小島学校長に話を聞きしました。

### 2月定例議会の日程をお知らせします。

- 2月16日 開会
- 2月20日 代表質問
- 22日 正午 請願の締め切り
- 23・24・27・28日 質疑・一般質問
- 3月1・3・6・7日 予算特別委員会
- 8・9日 予算特別委員会分科会  
各常任委員会
- 10日 追加議案上程
- 13日 質疑・追加議案採決
- 14・15日 各特別委員会
- 16日 予算特別委員会
- 21日 閉会



大雪による農業被害をきく

みちよの  
かけ歩き（記）



梅村さえ子衆議院議員とともに県当局からきく

2月4日、大雪によるビニールハウスの倒壊などの農業被害を農家におききました。早急な対応を求めます。

2月2日、「長時間労働問題」で日本共産党梅村さえ子衆議院議員が、県職員の労働実態・対策を調査しました

### 生活相談会をおこなっています。

毎月 第1.3月曜日 午後3～5時まで  
場所：ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2017年2月7日 発行：ふしきみちよ事務所  
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334  
メール [mfushiki@beach.ocn.ne.jp](mailto:mfushiki@beach.ocn.ne.jp) ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索